

2026 SYLLABUS

通信教育部

北海道情報大学

【 教養科目：目次 】

心理学	2
哲学	4
物理学の基礎	6
基礎生命科学	8
ホスピタリティマネジメント	10
メディア・リテラシー入門	12
健康科学	16
海外事情（アメリカ編）	18
海外事情（中国編）	20
海外語学・文化研修（中国大連編）	22
英語Ⅰ（初級英語読解）	24
英語Ⅱ（初級英会話）	26
英語Ⅲ（中級英語読解）	28
英語Ⅳ（中級英会話）	30
英語Ⅴ（実用英語）	32
初級中国語	34



担当教員： 稲田 尚史

専 門 心理学（臨床心理学・認知心理学）

出身校等 北海道大学 大学院 文学研究科 文学修士 博士（医学）

現 職 北海道情報大学 非常勤講師

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
第 1 講 心理学とはなにか (p.1) ～第 16 講 適応の障害と心理療法 (p.204)	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて	
<p>【試験時参照許可物】</p> <p>一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。</p> <p>【試験に関する注意事項】</p> <p>印刷授業においては、学習用プリントを参考にしながらテキストをよく読み、要点をノートにまとめよく理解しておくこと。</p>	
科目の概要	
<p>心理学は人の心の働きや行動を通して研究する学問である。一般的な心理学のイメージは、心理検査や心理療法など、個人の心の状態を調べたり、適応を改善したりする臨床的なイメージが強いかもしれない。しかし、心理学は人の行動に関わる様々な機能を研究対象としており、基礎的なメカニズムからその応用に至るまでその範囲は非常に広い。学習範囲が大変広いので、学習用プリントを基本として教科書や参考図書を用い、それぞれの項目について自己の体験と関連づけながら理解するよう心がけて欲しい。</p>	
科目における学修の到達目標	
<p>ここでは、一般教養としての心理学の学習を目指しており、できるだけ広く偏りのない心理学の基礎的知識とその基本的考え方を学んで欲しいと考えている。心理学を学ぶことで、身の回りの様々な疑問が解決するという単純なものではないが、人間とはどのようなものかを知り、自分を知り、他人を知るという過程を経て、自己の成長に繋げて貰えるならば望外の喜びである。単に事柄を記憶するのではなく、自分の身の回りの出来事や経験と結びつけながら、体験をもとにした学習を進めてくれることを願っている。</p>	
講義の方針・計画	
<p>第 1 回：心理学とはなにか・行動の発生</p> <p>第 2 回：要 求</p> <p>第 3 回：要求と行動</p> <p>第 4 回：知 能</p> <p>第 5 回：性 格</p> <p>第 6 回：性格の形成</p> <p>第 7 回：感 情</p> <p>第 8 回：学 習</p> <p>第 9 回：記 憶</p> <p>第 10 回：認知と思考</p> <p>第 11 回：感 覚</p> <p>第 12 回：視聴覚</p> <p>第 13 回：個体の発達</p> <p>第 14 回：社会心理</p>	

第 15 回：適応の障害と心理療法
準備学習(予習・復習)
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。科目試験による評価 100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：心理学（新版） 著者名：大山 正、詫摩武俊、中島 力 発行所：有斐閣 ISBN：9784641111028
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
大学院附属臨床心理センターにおける相談・指導 北海道・札幌市・福岡県 スクールカウンセラー 精神科病院での検査・相談 豊富な臨床経験に基づき、心理臨床場面や日常生活での様々な場面の具体例について、心理学の観点から考察を行うことができるような教育を実施する。



担当教員： 三浦 洋

専 門 哲学、倫理学、芸術学

出身校等 北海道大学大学院文学研究科

現 職 北海道情報大学 情報メディア学部 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期面接授業・夏期面接授業
授業範囲	
教科書の内容全て。	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
教科書の内容全て。	
<p>【印刷授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。</p> <p>【面接授業：試験時持ち込み許可物】 一切自由</p> <p>【試験に関する注意事項】 印刷授業の科目試験は、インターネット試験で実施します。その際、教科書は必ず参照すること。面接授業（スクーリング）の場合も、試験の際は必ず教科書を持参すること。</p>	
科目の概要	
<p>哲学は元来、すべての学問を包摂する知的探究の営みです。人間、自然、社会など、およそ世界の存在に関わる事柄はすべて哲学の対象でした。今の社会では、人々の考え方を単純に「哲学」と呼ぶ場合もありますが、学問としての哲学には厳密さが求められ、哲学独特の問題の立て方や探究方法が古来思索されてきたのです。</p> <p>この授業では、古代ギリシャから現代まで歴史を追って著名な哲学者や主要な哲学の潮流を学び、そのことを通じて哲学という学問のあり方そのものを学びます。</p>	
科目における学修の到達目標	
<p>哲学には人間の論理的思考の原型が秘められていますから、自分の力で物事を粘り強く考える姿勢を養うことができます。また、哲学の探究は生き方の思索に結びつきますから、歴史上の哲学者たちが考えてきたテーマを学ぶことは、自分の人生を深く考えるときのよりどころにもなるはずです。これら二点を踏まえ、哲学を単なる知識の寄せ集めとしてではなく、生きた教養として身につけることが目標です。</p>	
講義の方針・計画	
<p>第 1 回：哲学の始まりとミレトス学派 第 2 回：イタリア学派の思想 第 3 回：ソクラテスの思索 第 4 回：プラトンとイデア論 第 5 回：アリストテレスの哲学 第 6 回：中世のキリスト教哲学 第 7 回：イギリス経験論の展開 第 8 回：大陸合理論の展開 第 9 回：カントの調停 第 10 回：ドイツ観念論の展開 第 11 回：ヘーゲルと弁証法 第 12 回：コントの実証主義とマルクスの唯物論 第 13 回：実存主義と本来の自己</p>	

第 14 回：科学哲学の展開 第 15 回：現象学から解釈学への展開
準備学習(予習・復習)
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどをもとにして自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。2 時間。 印刷授業以外の授業形態においては、以下の準備学習を行います。 (予習) 聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 (復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。科目試験 100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
岩田靖夫・坂口ふみ・柏原啓一・野家啓一著『西洋思想のあゆみ ロゴスの諸相』、有斐閣 ISBN 9784641059559 (紙媒体に限る。電子書籍は不可)
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
実務経験なし



担当教員： 露木 孝尚

専 門 素粒子物理学

慶應義塾大学工学部物理学科卒業、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻

出身校等 修士課程修了、新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

現 職 北海道情報大学 経営情報学部 講師

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期面接授業・後期面接授業
授業範囲	
Moodle にアップロードする資料の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
Moodle にアップロードする資料の内容すべて	
<p>【印刷授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。</p> <p>【面接授業：試験時参照許可物】 自筆のノート</p>	
科目の概要	
<p>本科目では教養としての物理学を幅広く学びます。物理学は自然界の根本的な法則を扱う分野であるだけでなく、身の回りの様々な技術に応用されています。この世界をより深く知り、論理的な思考をするために、教養として物理学を学ぶことは大切です。また、公務員や教員、民間企業への就職活動の際にも、教養試験として物理学が出題されることがあります。</p> <p>本科目では写真や動画を積極的に用いることによって、視覚的かつ具体的に物理学を学びます。基本的な内容から扱うため高校で物理学科目を履修していない方でも問題ありません。一方で原子や宇宙、未解決問題などの発展的内容も扱うため、最先端の現代物理学にも触れることができます。</p>	
科目における学修の到達目標	
<p>身の回りの様々な自然現象について物理学の概念を用いて理解すること。</p> <p>身近な科学技術に応用されている物理学の原理を理解すること。</p> <p>社会人の教養として必要な水準の物理学を理解すること。</p>	
講義の方針・計画	
<p>第 1 回：物理学の全体像と宇宙の謎</p> <p>第 2 回：国際単位系、速度</p> <p>第 3 回：加速度</p> <p>第 4 回：運動の法則・ばね</p> <p>第 5 回：重力</p> <p>第 6 回：天体や人工衛星の運動</p> <p>第 7 回：仕事とエネルギー</p> <p>第 8 回：宇宙速度</p> <p>第 9 回：熱と温度</p> <p>第 10 回：波動</p> <p>第 11 回：電子と電流</p> <p>第 12 回：電気回路</p> <p>第 13 回：電力</p>	

第 14 回：原子・素粒子

第 15 回：実践問題

準備学習(予習・復習)

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。

わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

面接授業については以下の準備学習となります。

(予習) 事前に講義資料に目を通し、これから学習する学習項目の概要を把握しておく。

(復習) 授業で解いた問題の振り返り、間違えた問題の解きなおし、次回授業での質問の整理を行う。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 <w:br />【印刷授業】 <w:br />Moodle 試験：100% <w:br />【面接授業】 <w:br />小テスト：40% <w:br />試験：60%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

面接授業は、その場で正誤のフィードバックおよび解説を行う。

教科書

なし

参考書・参考 Web サイト

新課程 視覚でとらえるフォトサイエンス 物理図録, 数研出版編集部編, 数研出版

SCOA のトリセツ、LEC 東京リーガルマインド編著、東京リーガルマインド

関連授業科目

基礎数学、宇宙への挑戦

その他

なし

担当教員の実務経験

博士号取得後、IT 企業及び官庁で実務を行い、大学で学ぶ数学や物理学が実社会でどのように応用されているかを知ることができました。本科目ではなるべく具体的な題材を取り上げ、現実で役に立つ知識を身につけられるようにします。



担当教員： 居弥口 大介

専 門 生物物理学、構造生物学

出身校等 北海道大学 理学博士

現 職 知的情報総合サービス

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて	
<p>【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。</p>	
科目の概要	
<p>近年、ヒトの設計図とも呼ばれる全ゲノム情報が解明され、身体のなかで機能しているタンパク質に関する膨大な情報を、誰もがデータベースから取得することが可能な時代になった。そしてゲノム情報を基盤とした新たな創薬の世界が幕を開け、固体差を考慮するテーラーメイド医療も現実になろうとしている。さらに遺伝子操作をはじめとするバイオテクノロジーの発展はめまぐるしいものがあり、これらを使った遺伝子組み換え食品の開発、ES 細胞や iPS 細胞などによる再生医療など、最先端技術に関する情報が新聞やテレビなどで伝えられている。しかしながら、これら最先端技術を用いた生物学や医療などに関する情報は、生命科学に関する基礎的知識を身につけていなければ正確に理解することができない。</p>	
科目における学修の到達目標	
<p>本講義では、人体の構造や遺伝、免疫など、ヒトのからだに関する基礎的な知識について正しく理解することを目標とする。</p>	
講義の方針・計画	
<p>本講義では教科書として「わかる生物学」（化学同人）を使用します。学習用プリントを参考にしながら下記の内容について学習してください。 教科書の各章の終わりには章末問題があります。学習した知識の確認のために必ず解いてください。</p>	
<p>第 1 回：「生物とはいったい何だろう」 第 2 回：「細胞から、からだができる」—細胞の構造と機能、組織、器官・器官系— 第 3 回：「細胞から、からだができる」—細胞の分裂と増殖、配偶子形成と受精— 第 4 回：「食べ物からエネルギーをつくる」—エネルギーを作り出す分子 ATP、食べ物からエネルギーをつくるしくみ— 第 5 回：「食べ物からエネルギーをつくる」—脂肪酸からのエネルギー供給— 第 6 回：「食べ物から、からだをつくる」—からだは食べ物からどのようにしてできるか— 第 7 回：「食べ物から、からだをつくる」—生きてゆくための水— 第 8 回：「人体の構造を探る」—人体のつくり— 第 9 回：「人体の構造を探る」—血液の働き— 第 10 回：「からだの調節のしくみ」—神経系による調節、内分泌系による調節— 第 11 回：「からだの調節のしくみ」—免疫とは— 第 12 回：「子どもが親に似る遺伝のなぞ」—メンデルの遺伝の法則— 第 13 回：「子どもが親に似る遺伝のなぞ」—変異— 第 14 回：「遺伝子の本体 DNA」—分子生物学への道程、DNA 二重らせんの発見—</p>	

第 15 回：「遺伝子の本体 DNA」－DNA と突然変異、遺伝情報の調節、分子生物学の今後－
準備学習(予習・復習)
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。科目試験による評価 100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：わかる生物学 知っておきたいヒトのからだの基礎知識 (初版) 著者名：小野廣紀、内藤通孝 発行所：化学同人 ISBN：9784759810424
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
平成 18 年度から平成 23 年度まで大学薬学部の教員として生命科学分野の研究に従事。遺伝子工学、生化学、X 線結晶構造解析などの実験手法を使用して、主に酵素や転写因子などのタンパク質の構造・機能を解析する研究を行った。これらの実務経験を生かして、医療やバイオテクノロジーなどの最先端技術の話題を正しく理解するために必要な生命科学の基礎的知識の習得につながる教育を実施する。

ホスピタリティマネジメント ホスピタリティをプロフィットチェーンに繋げる

ナンバリング 2 単位

DCS116



担当教員： 中里 のぞみ

専 門 ホスピタリティ、キャリア
出身校等 北星学園大学 文学部英文学科
現 職 北海道情報大学 非常勤講師

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	教科書と学習用プリントの内容すべて
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照
試験範囲	授業範囲すべて 【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。
科目の概要	経済において「サービス」の占める重要度は拡大傾向にある。ホスピタリティをいかに具現化し、いかに経営に活用していくかというホスピタリティマネジメントは企業経営には欠かせない。顧客満足との根幹ともいえるホスピタリティを理解し、また、組織の中におけるそのマネジメントを事例豊富に、実学的に学び考察を深める。
科目における学修の到達目標	ホスピタリティマネジメントを学び、それを実践することができるようになる。
講義の方針・計画	<p>教科書や学習プリントを参考にして「ホスピタリティ」について理解し、「企業の事例」なども参考にして「ホスピタリティマネジメント」について考察を深め、自分の置かれている状況でそれらを活用できるように学んでください。</p> <p>興味のある企業などは、自律的にネットなどで調べてみるのも勉強になります。また、学習プリントで取り上げた企業については本も出版されているケースが多いので、そういったものも参考にするとよいでしょう。</p> <p>教科書も通信教育の自学自習の中で、わかりやすく学び進められるように様々な事例を豊富に取り入れ、難しい内容であってもわかりやすい言葉で解説するように努めました。自分の言葉でまとめておくレポート作成の時に有益です。</p> <p>時代は変化し、顧客のウォンツやニーズも変化し、それにともない顧客満足も変化しています。重要なことは自分の目の前にお客様に対して、その状況で自分にできる最大限のホスピタリティを具現化できるか否かです。</p> <p>また、組織としてホスピタリティをどのようにマネジメントしていくか。あるいは、社員満足なくして顧客満足なしと言われるかもしれませんが、社員満足を高めるためにはどうすればよいか。様々な視点で考察することも必要となるでしょう。</p> <p>自分がお客様の立場だったら、自分が社会人となってサービスを提供する立場だったら、現時点で社会人であれば、自分の仕事の中で顧客満足を高めるために今以上にできることはあるか・・・など、自分に当てはめて考察してみることも重要です。</p> <p>そして、今後ますます、企業が一方的にサービスや商品を提供するというより、顧客とともにサービスや商品を創出することが求められてきます。</p> <p>教科書や学習用プリントを通して、自立のかつ自律的に学習してください。</p> <p>第 1 回：ホスピタリティの実践的意味とその背景① ～サービスとホスピタリティ～（第 1 章） 第 2 回：ホスピタリティの実践的意味とその背景② ～ホスピタリティマインドとホスピタリティスキル～（第 1 章） 第 3 回：ホスピタリティマネジメント① ～コミュニケーションを通してのマネジメント～（第 2 章） 第 4 回：ホスピタリティマネジメント② ～社員満足と顧客満足～（第 2 章） 第 5 回：ホスピタリティマネジメント③ ～サービス品質のマネジメント～（第 2 章） 第 6 回：イレギュラリティへの対応① ～イレギュラリティと顧客満足～（第 3 章）</p>

第7回：イレギュラリティへの対応② ～イレギュラリティの具体的技術～（第3章）
第8回：企業におけるホスピタリティの実践① ～亀田総合病院～（学習プリントとWEBサイト）
第9回：企業におけるホスピタリティの実践② ～マザーハウス～（学習プリントとWEBサイト）
第10回：企業におけるホスピタリティの実践③ ～TESSEI～（学習プリントとWEBサイト）
第11回：企業におけるホスピタリティの実践④ ～星野リゾート～（学習プリントとWEBサイト）
第12回：企業におけるホスピタリティの実践⑤ ～加賀屋～（学習プリントとWEBサイト）
第13回：企業におけるホスピタリティの実践⑥ ～リッツカールトン～（学習プリントとWEBサイト）
第14回：サービスプロフィットチェーン（第4章）
第15回：総括（教科書と学習プリントの全体的な振り返りをする）
準備学習（予習・復習）
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。科目試験による評価100%
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書名：ホスピタリティとホスピタリティマネジメント（初版） 著者名：中里 のぞみ 紺野 猷邦 発行所：株式会社パレード ISBN：9784434240249
参考書・参考Webサイト
学習プリントに掲載しています ※履修期間に参考URLが変更になる場合もあります。その場合は企業名などで検索してください。
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
1983年～1988年まで日本航空国際客室乗員部に勤務し、その経験を活かして1989年～現CLDlaboを主宰し、企業・病院・商工会議所などでホスピタリティの心・知識・技術に関する研修を実施。また、産業カウンセラーとして就職支援・再就職支援・定着支援も担当し、ホスピタリティ産業に求められる人材・顧客満足についての指導をしています。接客要員としての経験と様々な業種の企業などに出講した経験から、より具体的にわかりやすく、授業を実施しています。通信教育においては、自学自習が基本となりますが、ホスピタリティマネジメントの理解がより深まるように、事例を豊富に取り入れてテキストを執筆しました。情報大学以外の大学・看護学校・高校においても「ホスピタリティマネジメント」以外の授業も担当しています。



担当教員： 伊東 正剛

専 門 マス・コミュニケーション論

出身校等 北海道大学法学部

現 職 元北海道新聞編集委員、北広島市国保運営協議会委員、林業

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて	
<p>【試験時参照許可物】</p> <p>一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。</p>	
科目の概要	
<p>メディア・リテラシーとは、メディアの情報を批判的に読み解き、発信する能力をいいます。インターネットの普及に伴い、毎日膨大な情報が日々の暮らしに押し寄せています。中でもフェイクニュース（虚偽ニュース）の問題は深刻です。メディアに煽られたり騙されたり、情報の海に溺れたりしないためには主体的に読み取る姿勢が欠かせません。そのためにはメディアの構造や特性、働きを理解することが重要です。ニュースを読み、情報を発信するうえで心得ておくべき点を学んでもらいます。</p>	
科目における学修の到達目標	
<p>メディア・リテラシーの能力を身に付けて暮らしや社会に役立てるのが目標です。具体的に三つの目標を設置します。</p> <p>第一に、虚偽のニュースは真実よりも速く拡散するため、情報を広める前にちょっと立ち止まること。でなければ、情報の被害者になるばかりか加害者になる可能性もあると認識すること。</p> <p>第二に、人には自分の耳に心地よいニュースを聞きたがる傾向が強いことを意識しながら、情報を自ら吟味して読み取る習慣を持つこと。</p> <p>第三に、既存メディアやポータルサイト、SNS など様々なメディアの長所と短所、ビジネスモデル（メディアはそれぞれどのようにして利益をあげているか）を理解して活用することです。</p>	
講義の方針・計画	
<p>まず、山脇岳志さんの「SNS 時代のメディアリテラシー」を読んで、災害や経済危機など社会的に大きな不安が広がっている時にデマが広がりやすいことを理解し、どうしたら真実が分かるのかを学んでもらいます。ニュースはさまざまな事実の中の一部を切り取って伝えていること、ソーシャルメディアはコンピューターのアлゴリズムを使って膨大な情報を選別してニュースを提供していることを学んでもらいます。</p> <p>次に、烏賀陽弘道さんが書いた「フェイクニュースの見分け方」を読んで、偽のニュースを掴まされないためにクロスチェックが必要なことを学んでもらいます。さまざまなメディアから発信される情報の役割や特性、影響力などを適切に理解する力を育み、情報の出所を確かめる習慣を心がけてもらいます。</p>	
<p>第 1 回：虚偽のニュースの拡散が速い訳と、あいまいさに耐える力</p> <p>第 2 回：情報の正確さを確かめる方法</p> <p>第 3 回：スポットライトの副作用</p> <p>第 4 回：事実と意見を区別する</p> <p>第 5 回：インテリジェンスの基本</p> <p>第 6 回：発信者不明情報</p> <p>第 7 回：空間軸と時間軸</p>	

第8回：フェアネスチェックの視点
第9回：信念バイアスがあることを意識しながらニュースを読む
第10回：陰謀論に陥らないために
第11回：フィルターバブルとエコーチェンバー
第12回：アウトプット
第13回：クリティカルシンキングを身につける
第14回：メディアのビジネスモデルを考える
第15回：メディアのこれから

準備学習(予習・復習)

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。
 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。科目試験による評価100%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書名：SNS時代のメディアリテラシー
 著者名：山脇岳志
 発行所：筑摩書房
 ISBN：9784480251541

書名：フェイクニュースの見分け方（初版）
 著者名：烏賀陽弘道
 発行所：新潮社
 ISBN：9784106107214

※指定書店から購入する場合は電子書籍版となります。

参考書・参考Webサイト

書名：10代からの情報キャッチボール入門 使えるメディア・リテラシー
 著者名：下村健一
 発行所：岩波書店

書名：「ポスト真実」時代のネットニュースの読み方
 著者名：松林薫
 発行所：晶文社

書名：はじめてのニュース・リテラシー
 著者名：白戸圭一
 発行所：ちくまプリマー新書

書名：メディアリテラシー 吟味思考を育む
 著者名：坂本旬、山脇岳志編著
 発行所：時事通信社

書名：世論（上）（下）（文庫版）
 著者名：W・リップマン
 発行所：岩波書店

書名：メディアと政治 改訂版

著者名：蒲島郁夫、竹下俊郎、芹川洋一

発行所：有斐閣

書名：クリティカル・シンキングができる子に育つ3つの視点と13のレッスン

著者名：ジュリー・ボガード

発行所：ディスカヴァー・トゥエンティワン

書名：あいまいさに耐える

著者名：佐藤卓己

発行所：岩波新書

書名：情報を活かす力

著者名：池上彰

発行所：PHPビジネス新書

書名：メディア不信 何が問われているのか

著者名：林香里

発行所：岩波新書

書名：NEXUS（ネクサス） 情報の人類史 上・下

著者名：ユヴァル・ノア・ハラリ

発行所：河出書房新社

書名：オシント新時代

著者名：毎日新聞取材班

発行所：毎日新聞出版

書名：フェイクニュースの生態系

著者名：藤代裕之編著

発行所：青弓社

書名：ディープフェイク ニセ情報の拡散者たち

著者名：ニーナ・シック

発行所：日経ナショナルジオグラフィック社

書名：人を動かすナラティブ なぜ、あの「語り」に惑わされるのか

著者名：大治朋子

発行所：毎日新聞出版

書名：フェイクに惑わされないための情報を見抜く技術 何がフェイクで、何がファクトなのか

著者名：瀬戸口誠

発行所：ナツメ社

関連授業科目

なし

その他

メディア・リテラシーの実践として、複数の新聞を読み比べてください。自分に興味のあるテーマを選び記事の扱いや内容を比較しながら自分の感想や意見を付箋で貼り付けてみてください。

担当教員の実務経験

1984年から2011年まで北海道新聞社編集局に勤務。旭川、札幌、東京などで地方自治、地域経済、社会保障、首相官邸、経団連、宮内庁、大相撲の取材、執筆に携わる。1996年に1年間、ロシア・ハバロフスクに駐在してソ連崩壊後の極東地域の混乱を報道した。この間、1990年に国際ロータリー財団の奨学金を受けて1年間、スウェーデン・ストックホルム大学国際大学院に留学し、同国の政治と年金制度を研究。2018年12月から非常勤で北海道新聞くらし報道部に、2019年8月からはテレビ北海道（TVh）報道部に籍を置き、社会保障問題などを取材、執筆している。



担当教員： 綿谷 貴志

専 門 スポーツバイオメカニクス

出身校等 鹿屋体育大学大学院博士後期課程 単位取得退学

現 職 北海道情報大学 情報メディア学部 情報メディア学科 准教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	教科書の内容すべて
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照
試験範囲	全 15 回の講義での学習範囲すべて 【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。
科目の概要	身体の事について精神，肉体両面から幅広く理論的に理解を深める。
科目における学修の到達目標	情報社会の到来や社会環境の変化に伴い，国民の健康問題の様相も大きく変化してきている。現在，日本の平均寿命は男女ともに世界トップクラスであるが，現実に老後の心配がなく，健康に生き生き生活し，人生を全うしているとは考えにくい。様々な社会問題はあるがその根本に健康という基盤がなければ，豊かな人生とするのは困難である。この講義では，肉体，精神，そして社会的に健康に成るための方法を学ぶことを目的とする。
講義の方針・計画	第 1 回：今なぜ健康かーその現状と考え方ー 第 2 回：現代社会の健康と健康状況 第 3 回：健康とは何かー健康概念の変遷ー 第 4 回：からだの健康 第 5 回：運動不足と健康障害 第 6 回：運動の身体的効果 第 7 回：運動による健康づくり 第 8 回：心の健康 第 9 回：ストレスと健康 第 10 回：運動・スポーツの心理的効果 第 11 回：運動・スポーツによる心の健康づくり 第 12 回：健康生活とスポーツ 第 13 回：これからの生活と運動・スポーツ 第 14 回：健康づくりのための運動 第 15 回：スポーツ科学の基礎知識
準備学習(予習・復習)	印刷授業は，教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが，授業範囲の内容の他に，教科書の内容全体を 1 単位で 45 時間かけて学習することを目安としています。わからない用語や内容は，参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準	次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。科目試験による評価 100%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書名：『新版 健康と運動の科学』 著者名：九州大学健康科学センター [編] 発行所：大修館書店 ISBN：9784469263893
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
なし

海外事情（アメリカ編）

ナンバリング 2 単位

DCS113



担当教員： Simon Thollar

専 門 英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、動機づけ 一般、教育法
 出身校等 タスマニア大学教育学部卒業 タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士 英国国立シェフィールド大学日本研究修士
 現 職 北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期面接授業 8月に3週間程度の英語研修をアメリカ合衆国オレゴン州のポートランド州立大学（以下 PSU）で行う。
授業範囲	
事前学修、海外研修プログラム全体、ならびに事後レポートおよび発表・報告を含む内容を扱います。	
試験期間	
試験実施なし	
試験範囲	
筆記試験は実施しません。 必修の事前学修への参加、研修への取り組み状況、ならびに最終発表（報告会）により総合的に評価します。	
科目の概要	
<p><<<2026 年度は実施内容調整中です。確定後、改めて情報を掲載します。>>></p> <p>海外事情（海外研修科目）は、社会情勢の変化および渡航費・滞在費等の経費増加を踏まえ、安全面および運営面を総合的に検討した結果、今年度はアメリカ研修の実施を見送ります。これに伴い、本科目は、オーストラリア（クイーンズランド州ブリスベン）での短期海外研修を軸としたプログラムとして実施する方向で現在調整を進めています。</p> <p>本科目では、英語運用能力の向上や欧米文化への理解を深めるとともに、IT 分野の学びや留学に関する基礎知識を身につけ、国際的なコミュニケーション力を養うことを目的としています。出発前には学内での事前学修を行い、修了することで単位に反映されます。</p> <p>本プログラムは、オーストラリアの協定校と連携し、現地における約 2 週間の短期海外研修を中心とした内容で実施する予定です。具体的な内容については現在調整中ですが、英語力・コミュニケーション力の強化および異文化理解を主な学習の柱としています。なお、実施の可否、日程、内容、募集方法等の詳細については、決定次第あらためて掲示します。参加を希望する学生には、選考において一定の英語力が求められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・為替レートや国際情勢の変動により、航空券代や滞在費が大きく変動する場合があります。本学では一部の費用を支援していますが、留学には一定の自己負担が伴う点をご理解ください。 ・学生は、本学から最大 15 万円までの貸与を受けられる場合があります（返済時期は後日設定されます）。 ・参加者が規定の人数に達しない場合、プログラムは実施されません（必要人数は年度により異なります）。 ・実施期間は、1 月下旬から 2 月上旬までの約 2 週間を予定していますが、調整状況により変更となる場合があります。 ・期間は、協定校の都合等により変更となる場合があります。 ・新しい情報が入り次第、シラバスを随時更新します。 	
科目における学修の到達目標	
英語のみの環境に身を置くことで、自身の英語力を認識し、今後の英語学習の方向性を見出すとともに、外国人とのコミュニケーションや海外での活動に慣れることを目標とします。	
講義の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の海外研修の実施内容については、現在調整中です。 ・実施期間は、1 月下旬から 2 月上旬までの約 2 週間を予定していますが、変更となる場合があります。 ・詳細については、決定次第掲示します。 	

準備学習(予習・復習)
研修先へ行く前に配付資料等を用いた事前学修（予習）を行います。必要に応じて事後の振り返り（復習）を行います。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。・成績評価は、標準評価基準に基づき総合的に行います。なお、以下は参考として過年度の実施例であり、今年度は変更となる場合があります。 ■ 事前授業：20% ■ レポート：30%（帰国後提出） ■ その他：30%（現地語学研修機関における成績） ■ 報告会でのプレゼンテーション：20% ・レポートおよび報告会での発表は必須とします。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
未定
教科書
なし
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
担当教員は、大学における英語教育および授業設計に長年従事しており、その経験をもとに本授業を行います。

海外事情（中国編）

ナンバリング 2 単位

DCS114



担当教員： 田中 英夫

専 門

貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論

出身校等

大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現 職

北海道情報大学 教授

授業形態	前期面接授業 8月に20日間程度の中国語研修を中国の南京大学で行う。
授業範囲	研修で使用する教科書は、南京大学より配付されるので、授業範囲もその教科書になります。
試験期間	試験実施なし
試験範囲	研修で使用する教科書は、南京大学より配付されるので、試験範囲もその教科書になります。
科目の概要	<p>テーマ： 南京大学での中国語会話能力の養成と異文化理解の体得</p> <p>この科目は、実際に学生各自が中国の南京大学における語学研修に参加し、日帰り研修旅行を通して、彼らが実践的な中国語を体得し、かつ現代中国事情と中国文化に対する理解も一層深めることを目的としています。また、学生各自が異文化を理解する能力を向上させると同時に、国際的視野と見識も確実に養成してゆくねらいもあります。</p> <p>本年度も、本学と学術交流協定を結んでいる南京大学で、夏季休暇期間に2週間の中国語研修を実施する予定です。具体的な実施計画案及び参加資格については、5月頃から、学内に掲示するので、参加希望者は、必ず担当教員の正式な承諾を得てから、各自の履修届けを提出することです。</p> <p>なお、研修の参加者には、人数制限が設けられているので、場合によっては、一部の学生には、当該科目の履修が許可されないこともあります。また、中国語研修及び日帰り研修旅行の日程などは、様々な事情により、計画が変更される可能性もあるので、十分に注意して欲しい。</p>
科目における学修の到達目標	現地における実践的な中国語の習得及び日帰り研修旅行などを通して、学生各自が現代中国事情や中国文化に対する理解を深めてゆくと同時に、彼らの異文化理解能力と国際的視野及び見識なども大いに養成させたい。
講義の方針・計画	<ul style="list-style-type: none">・夏季休暇期間に2週間程度開催される海外事情（中国語編）の方針と計画（5月頃掲示）に基づきます。・「南京大学短期留学プログラム」の内容を把握します。・「南京大学短期留学プログラム」（キャンパス見学と南京市内観光など）に参加します。
準備学習（予習・復習）	<ul style="list-style-type: none">・教科書や学習プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。・わからない用語や内容は、参考文献などで検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準	次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価します。 ■現地の研修成績：70% ■レポート（研修日記）：20% ■現地の研修態度 10%（積極性など）
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	レポート（研修日記など）提出後、修正が必要な場合、メールで連絡します。
教科書	研修で使用する教科書は、南京大学より配付されます。

参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
なし

海外語学・文化研修（中国大連編）

ナンバリング 1 単位

DCS115



担当教員： 田中 英夫

専 門

貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論

出身校等

大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現 職

北海道情報大学 教授

授業形態	前期面接授業 8月に中国語研修を中国の大連で行う。
授業範囲	「大連東軟信息学院短期留学プログラム」の内容を把握します。
試験期間	試験実施なし
試験範囲	「大連東軟信息学院短期留学プログラム」の内容を把握します。
科目の概要	<p>テーマ：現代中国の言語と文化及び習慣について学びます。</p> <p>本学と学士課程学生教育に関する共同プロジェクト実施協定を結んでいる大連東軟信息学院で、夏期休暇期間に2週間程度開催される中国語・中国文化研修（「大連東軟信息学院短期留学プログラム」）に参加する授業です。</p> <p>具体的な実施計画案及び参加資格については、5月頃から案内します。</p> <p>なお、当該科目の単位は、現地に行って研修した学生にしか認定しないので、履修届は年度始めではなく、研修が決定した後、指定された期間内に提出することになります。</p>
科目における学修の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大連での実践的な中国語の習得を通じて、日常生活における中国語を理解できる力を養います。 ・大連での異文化体験や研修旅行を通じて、中国の地理や文化に関する基礎知識を習得します。
講義の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期休暇期間に2週間程度開催される中国語・中国文化研修の方針と計画（5月頃案内）に基づきます。 ・「大連東軟信息学院短期留学プログラム」の内容を把握します。 ・「大連東軟信息学院短期留学プログラム」（キャンパス見学と大連市内観光など）に参加します。
準備学習(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や学習プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書内容全体を1単位で45時間かけて学習することを目安としています。 ・わからない用語や内容は、参考文献などで検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準	<p>次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価します。</p> <p>■現地の研修成績：70% ■レポート（研修日記）：20% ■現地の研修態度10%（積極性など）</p>
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	レポート（研修日記など）提出後、修正が必要な場合、メールで連絡します。
教科書	研修で使用する教科書は、大連東軟信息学院より配付されます。
参考書・参考Webサイト	なし
関連授業科目	なし

その他
なし
担当教員の実務経験
なし

英語Ⅰ（初級英語読解） 日常会話に役立つ表現をマスターしよう

ナンバリング 2 単位

DFL101



担当教員： 四戸 聡美

専 門

英語教育、第二言語習得論（個人差要因研究）、ICT 教育

出身校等

北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 博士（学術）

現 職

北海道情報大学 経営情報学部 システム情報学科 講師

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	教科書の内容すべて
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照
試験範囲	授業範囲すべて 【印刷授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。
科目の概要	この授業では、海外旅行に行った際に遭遇する場面を想定して、主に英語の会話表現、リスニング活動、リーディング活動をベースとして学びます。使用する教科書は、アメリカでの日々の生活の様子をリアルに体験できる作りになっています。実践的なコミュニケーションに役立つ「生きた英語」を身につけましょう。
科目における学修の到達目標	1. 日常的な英語の会話表現を理解し、活用できる。 2. ネイティブスピーカーの話す英語（英語の音声）を正確に聞き取ることができる。 3. 英語の文章の内容を正確に読み取ることが出来る。
講義の方針・計画	第 1 回：Unit 1 機内 第 2 回：Unit 2 到着 第 3 回：Unit 3 ケイトと再会 第 4 回：Unit 4 自由の女神 第 5 回：Unit 5 メトロポリタン美術館 第 6 回：Unit 6 レストラン 第 7 回：Unit 7 ミュージカル 第 8 回：Unit 8 体調不良 第 9 回：Unit 9 スーパーでの買い物 第 10 回：Unit 10 スポーツ観戦 第 11 回：Unit 11 ワシントン D.C.へ ～ケイトとお別れ～ 第 12 回：Unit 12 ホテル 第 13 回：Unit 13 ホワイトハウス 第 14 回：Unit 14 大学訪問 第 15 回：Unit 15 帰国
準備学習(予習・復習)	印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準	

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 Moodle 試験：100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却します。
教科書
書 名： Let's Go Abroad! - Takeshi's journey to the U.S. 著者名： Hiroko Nishikage, Etsuko Haginoya, Masaaki Tamura, Thomas Dillon 著 発行所： Cengage Learning ISBN： 9784863124448
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
なし

英語 II (初級英会話) 中高で習った英語を英会話で使いましょう!

ナンバリング 2 単位

DFL102



担当教員: Simon Thollar

専門

英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、動機づけ一般、教育法

出身校等

タスマニア大学教育学部卒業 タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士 英国国立シェフィールド大学日本研究修士

現職

北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期 IP メディア授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて	
<p>【印刷授業・IM 授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。</p> <p>【IP メディア授業：試験時持ち込み許可物】 辞書（電子辞書も可）のみ</p>	
科目の概要	
<p><<< 2024 年度の内容を暫定公開中です。変更となる場合がありますので後日確認してください。>>></p> <p>この授業は会話が基本です。文法に縛られた英語学習から解放することを意図した講義で、さまざまな場面を想定した表現法を紹介します。e-Learning の場合は、よく chapter movie を見て下さい。わからないことがあれば、すぐに質問する姿勢が大切です。</p> <p>IP メディア授業：毎週、英語と日本語で、ノートにテキストのメインポイントを書かなければなりません。</p>	
科目における学修の到達目標	
この授業は基本の会話を習得することを目標とします。学生は基本的な文法をすでに習得していると思われるので、文法よりも会話(communication)に重点をおいています。	
講義の方針・計画	
<p>全ての講義でテキストを使います。テキストは chapter1 から chapter14 まであります。会話を基本とし、話すことに重点をおくので、繰り返し練習すること。</p> <p><学習方法></p> <p>(1) chapter dialogue (English Story & Japanese Story)を読む。</p> <p>(2) key sentence の説明を理解する。</p> <p>(3) student exercises を解く。</p> <p>(4) 次の chapter にすすむ。</p> <p>(注) 印刷授業の場合はレポート提出の前に、テキストを読み終えておくこと。またレポートの回答はテキストを参考にすること。</p> <p>(注) e-Learning の場合は、chapter の問題/選択問題を必ず解くこと。</p> <p>(注) スクーリングの場合は、講義の流れに従って、積極的に発言すること。</p> <p><ながれ></p> <p>第 1 回: Chapter 1 "How you doing?" 挨拶</p>	

第 2 回： Chapter 2 "This is Paul." 人と会う
第 3 回： Chapter 3 "You doing anything?" 予定
第 4 回： Chapter 4 "Let's go out!" 招待
第 5 回： Chapter 5 "What can I get you?" 外食
第 6 回： Chapter 6 "Got a tissue?" 持っている
第 7 回： Chapter 7 "Crazy about Eric." 好み
第 8 回： Chapter 8 "Is John there?" 電話
第 9 回： Chapter 9 "What's wrong with me?" 病気
第 10 回： Chapter 10 "Never heard of it." 経験
第 11 回： Chapter 11 "In 2 weeks?" 過去未来
第 12 回： Chapter 12 "I've been waiting." どのくらい
第 13 回： Chapter 13 "Gotta go!" 提案
第 14 回： Chapter 14 "Take care!" 別れ
第 15 回： まとめ もう一度 key sentence を読むこと。(IP メディアの場合、模擬試験)
準備学習(予習・復習)
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。 (予習) 聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 (復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。印刷授業・IM 授業 科目試験：100% <w:br />IP メディア授業 科目試験：55%、ノート：15%、宿題：30% (宿題は学生がネット上で直接に提出します。)
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：Simon Says -Basic English Conversation for Young Adults- (第 2 版) 著者名：Simon Thollar 発行所：丸善プラネット ISBN：9784863454187
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
学習用プリントはありません。 印刷授業のレポート課題は、下記「レポート課題」をダウンロードして表示される案内文書を確認してください。
担当教員の実務経験
<p>■ 担当教員の主な経歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学における英語教育歴 30 年以上 ・これまでに 3 万人以上の大学生を指導 ・英語教材・教科書を 3 冊出版 ・国際的な語学教育関連学会・研究会での発表 10 回以上 ・e ラーニングおよび授業設計 (インストラクショナル・デザイン) に 25 年以上従事 ・英語母語話者



担当教員： 竹内 典彦

専 門 英語教育、グローバル人材育成教育

出身校等 筑波大学大学院

現 職 北海道情報大学 非常勤講師

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業
授業範囲	
教科書の (p25～p26、p31～p32、p37～p38、p43～p44、p49～P50、p61～p62、p73～p74、p85～p86) まで	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
教科書の授業範囲の内容すべて	
<p>【印刷授業・IM 授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ (通信教育部 POLITE を除く) と生成系 AI の参照は不可とする。</p> <p>【試験に関する注意事項】 和訳問題があります。教科書を和訳できるように準備してください。英語で回答する設題があります。80 語程度以上を書いてください。教科書情報に基づいて回答してください。なるべく教科書の英語表現をそのまま利用してください。日本語で回答する設問は、句読点を含めて 200 字程度以上を書いてください。こちら教科書情報に基づいて回答してください。</p> <p>「感想を述べなさい」という設問は、実際は「ユニットのテーマについて考察しなさい」という趣旨です。句読点を含めて 300 字程度以上書いてください。どの設題も、「できるだけ簡潔に回答する」ということを求めています。必要に応じた量を書いてください。</p> <p>試験では、教科書の内容をよく理解していなければ、合格点はとれません。真剣に準備をして取り組んで下さい。ChatGPT などの生成系 AI が登場しました。繰り返しますが、教科書の内容や情報に基づき、教科書の英語表現をなるべくそのまま利用した回答でなければいけません。この科目は英語の科目ですから、英語の教科書を読むことが前提だからです。</p>	
科目の概要	
英語 III (中級英語読解) では、アメリカが産んだ魅力的な人物やビジネス、そして文化や地域にスポットを当てて、学んでいきましょう。世界的に有名な事物、人物を英語で学んでいきます。	
グローバル感覚は全てがよしというわけではありませんが、世界というものを身近に感じられる全方向感覚を持てるように、全力で Let's start!!	
科目における学修の到達目標	
英語の読解力を養成します。英文の構造、文法や構文、単語や熟語等の英文を構成する要素を理解できるようになること。教科書の内容を理解したうえで、日本語に訳したり、英問英答 (教科書に関する英語による質問に、英語で記述回答) ができるようになること。教科書に関する日本語による質問にも、教科書の内容や情報に基づいて、論理的に回答できること。ユニットのテーマについて、問題意識をもって考察できること。	
講義の方針・計画	
英和辞典・和英辞典を使いこなし英語大好き (ちょっとだけでも) 人間になりましょう。	
指定ユニット (章)。学生の関心、興味ある章を選択してありますので、ページを間違えないように注意してください。	
第 1 回：p25～p26 Steve Job's Legacy (スティーブ・ジョブズ) 本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。	
第 2 回：ユニットのテーマについて考察し、題材の深い理解に努める。	
第 3 回：p31～p32 Disney and Marvel (ディズニーとマーベル) 本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。	

<p>第4回：ユニットのテーマについて考察し、題材の深い理解に努める。</p> <p>第5回：p37～p38 The Appeal of Aloha（アロハの魅力）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。</p> <p>第6回：ユニットのテーマについて考察し、題材の深い理解に努める。</p> <p>第7回：p43～p44 New York City（ニューヨーク）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。</p> <p>第8回：ユニットのテーマについて考察し、題材の深い理解に努める。</p> <p>第9回：p49～P50 Los Angeles（ロサンゼルス）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。</p> <p>第10回：ユニットのテーマについて考察し、題材の深い理解に努める。</p> <p>第11回：p61～p62 Starbucks（スターバックス）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。</p> <p>第12回：ユニットのテーマについて考察し、題材の深い理解に努める。</p> <p>第13回：p73～p74 Amazon.com（アマゾン）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。</p> <p>第14回：ユニットのテーマについて考察し、題材の深い理解に努める。</p> <p>第15回：p85～p86 Facebook（フェイスブック）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。</p> <p>ユニットのテーマについて考察し、題材の深い理解に努める。</p>
<p>準備学習(予習・復習)</p> <p>印刷授業は、教科書を基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。</p> <p>わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。</p> <p>印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。</p> <p>（予習）聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。</p> <p>（復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。</p>
<p>成績評価の方法およびその基準</p> <p>次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。科目試験による評価100%</p>
<p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法</p> <p>印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。</p>
<p>教科書</p> <p>書名：Iconic America（知られざるアメリカの今）（初版）</p> <p>著者名：Jeffrey Miller、萱 忠義</p> <p>発行所：成美堂 2013年1月20日初版</p> <p>ISBN：9784791912858</p>
<p>参考書・参考Webサイト</p> <p>なし</p>
<p>関連授業科目</p> <p>なし</p>
<p>その他</p> <p>特記事項：常に新聞、テレビ、本、映画などで世界的な新しい知識、事実を貴方の中で増やして行って下さい。“TO SEE IS TO BELIEVE.”（百聞は一見に如かず）</p>
<p>担当教員の実務経験</p> <p>実務経験なし</p>

英語 IV (中級英会話) 英語でよく出る言葉の色々な使い方を覚えましょう!

ナンバリング 2 単位

DFL104



担当教員: Simon Thollar

専門

英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、動機づけ一般、教育法

出身校等

タスマニア大学教育学部卒業 タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士 英国国立シェフィールド大学日本研究修士

現職

北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業・後期 IP メディア授業
授業範囲	教科書の内容すべて
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照
試験範囲	授業範囲すべて 【IM 授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ (通信教育部 POLITE を除く) と生成系 AI の参照は不可とする。 【IP メディア授業：試験時持ち込み許可物】 辞書 (電子辞書も可) のみ
科目の概要	この授業は会話が基本です。文型等の表現法は、さまざまな場面を想定したモデルを通して紹介します。この講義で紹介する英語は、現在使われている熟語やスラングも含み、実際の英会話を反映するものを選んでいきます。e-Learning の場合は、よく chapter movie を見て下さい。スクーリングの場合は、授業に取り組む姿勢が問われますので、気合いを入れてスクーリングに参加するようにして下さい。 IP メディア授業：毎週、英語と日本語で、ノートにテキストのメインポイントを書かなければなりません。
科目における学修の到達目標	この授業は会話力をさらに向上させるコースです。すでに習得している会話力や聞き取りなどをもっと発展させることを重点としています。学生は英語 II で基本的な会話をすでに習得していると思われるので、会話力をさらに上達させることが目標です。
講義の方針・計画	全ての講義でテキストを使います。テキストは chapter1 から chapter14 まであります。会話を基本とし、話すことに重点をおくので、繰り返し練習すること。 <学習方法> (1) chapter movie (on-line か CD)を見る。 (2)key sentence の説明を理解する。 (3)student exercises を解く。 (4) 次の chapter にすすむ。 (注) e-Learning の場合は、chapter の問題/選択問題を必ず解くこと。 (注) スクーリングの場合は、講義の流れに従って、積極的に発言すること。 <ながれ> 第 1 回： Use of the word "how" 第 2 回： Use of the word "what" 第 3 回： Use of the word "take" 第 4 回： Use of the word "have"

第 5 回： Use of the words "there is/are, many/much"
第 6 回： Use of the words "it, that, one"
第 7 回： Use of the word "get"
第 8 回： Use of the word "give"
第 9 回： Use of the words "say/speak/tell"
第 10 回： Use of the words "see/watch/look"
第 11 回： Use of "almost/nearly/just about"
第 12 回： Use of numbers, quantities & qualities
第 13 回： Use of tag questions
第 14 回： Use of the words "come/go"
第 15 回： Revision of previous chapters
準備学習(予習・復習)
以下の準備学習を行う。 (予習) 聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。 (復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。IM 授業 科目試験：100% IP メディア授業 科目試験：55%、ノート：15%、宿題：30% (宿題は学生がネット上で直接に提出します。)
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
IM 授業は、練習問題を解答すると、解答に応じたコメントを画面に表示する。
教科書
書 名：HOBBYMAN (第 3 版) 著者名：Simon Thollar 発行所：丸善プラネット ISBN：9784863455573 注意事項： ※2024 年度から、第 3 版が発行となりました。 一般書店で入手できない場合は、マイページから指定書店(紀伊國屋書店北海道営業部)へお申し込みください。(既に第 2 版をお持ちの方は、購入し直す必要はありません。)
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
「英語Ⅱ(初級英会話)」を履修済であることが望ましい。
その他
なし
担当教員の実務経験
<p>■ 担当教員の主な経歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学における英語教育歴 30 年以上 ・これまでに 3 万人以上の大学生を指導 ・英語教材・教科書を 3 冊出版 ・国際的な語学教育関連学会・研究会での発表 10 回以上 ・e ラーニングおよび授業設計(インストラクショナル・デザイン)に 25 年以上従事 ・英語母語話者

英語Ⅴ（実用英語） イデオムで英語のコミュニケーションを楽しもう

ナンバリング 2 単位

DFL105



担当教員： Joel Rian

専 門 Communication Strategies（伝達方略） Foreign Language Learning
 Motivation（外国語学習・習得に関する動機・意欲）
 出身校等 ミネソタ大学文学部卒業 マッコリー大学言語学部（応用言語核）修士課程
 修了 マッコリー大学言語学部（言語学）博士課程修了
 現 職 北海道情報大学・経営情報学部・先端経営学科・准教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
教科書の内容: Units 1-6 (pp12-118)	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
<p>【印刷授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。</p> <p>【試験に関する注意事項】 教科書は必ず参照して下さい。</p>	
科目の概要	
<p>This is a reading course. The goal is to explore higher-level English vocabulary and expressions as well as reading strategies.</p> <p>Each reading has vocabulary and comprehension quizzes to measure your understanding.</p>	
科目における学修の到達目標	
This course will help students read intermediate-level texts by acquiring vocabulary and reading strategies.	
講義の方針・計画	
第 1 回 Unit 1 Reading 1 "Not Your Typical 9-5 Job" 第 2 回 Unit 1 Reading 2 "Job Interview Types" 第 3 回 Unit 2 Reading 1 "Unmasking Virus Writers and Hackers" 第 4 回 Unit 2 Reading 2 "Female Virus Writer Packs a Punch" 第 5 回 Unit 3 Reading 1 "Into the Heart of a Family in Casablanca" 第 6 回 Unit 3 Reading 2 "Travel for Good" 第 7 回 Review Unit 1 (three readings) 第 8 回 Unit 4 Reading 1 "The The Vanishing Hitchhikers" 第 9 回 Unit 4 Reading 2 "The Bell Witch" 第 1 0 回 Unit 5 Reading 1 "What Exactly IS a Short Story?" 第 1 1 回 Unit 5 Reading 2 "An Interview with J.K. Rowling" 第 1 2 回 Unit 6 Reading 1 "Emotional Intelligence" 第 1 3 回 Unit 6 Reading 2 "Left Brains, Right Brains and Board Games" 第 1 4 回 Review Unit 2 (three readings) 第 1 5 回 Review and test on Units 1-6	
準備学習(予習・復習)	
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。	

成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 Moodle 小テスト：50% Moodle 試験：50%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：Active Skills for Reading, 3/e Book 4 Student Book (240 pp) Text Only3 Student Edition-JP- 著者名：Neil J. Anderson 発行所：Nat Geo Learning / Heinle Cengage Learning ISBN：978-1-133-30809-6
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
なし



担当教員： 田中 英夫

専 門

貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論

出身校等

大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現 職

北海道情報大学 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期 IP メディア授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業
授業範囲	
<ul style="list-style-type: none"> ・「発音編」の範囲は初級中国語の母音（36 個）、子音（21 個）、四声、軽声、音節の仕組みなど ・「文法編・読解編」の範囲は単語・文法・本文・練習問題など ・「会話編・中国語の豆知識編」の範囲はコラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）など 	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ（ https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/ ）下部の「2026 学年暦」を参照	
試験範囲	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 冊の指定教科書が範囲です。 ・ 2 冊の指定教科書本文と語法からでるが、リスニングはありません。 <p>【印刷授業・IM 授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただし Web ページ（通信教育部 POLITE を除く）と生成系 AI の参照は不可とする。</p> <p>【IP メディア授業：試験時持ち込み許可物】 一切自由</p>	
科目の概要	
<p>テーマ 基礎から初級程度の中国語の習得</p> <p>概要 この講義では、授業担当者自身が書いた 2 冊の教科書を使い、初級中国語の発音・文法・読解の基礎を習得すると同時に、日常会話能力の養成も図りたいです。</p>	
科目における学修の到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・初級中国語の母音、子音、四声、軽声、音節の仕組みなどを簡潔に解説し、正確な発音を習得します。 ・単語・文法・本文・練習問題などの学習を通じて、初級中国語の文法と読解力を高めます。 ・コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）の学習を通じて、初級中国語の日常会話力を高めます。同時に、中国語の豆知識も身に付けます。 	
講義の方針・計画	
<p>I 「発音編」の方針 初級中国語の母音、子音、四声、軽声、音節の仕組みなどを簡潔に解説し、正確な発音を習得します。</p> <p>II 「文法編・読解編」の方針 単語・文法・本文・練習問題などの学習を通じて、初級中国語の文法と読解力を高めます。</p> <p>III 「会話編・中国語の豆知識編」の方針 コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）の学習を通じて、初級中国語の日常会話力を高めます。同時に、中国語の豆知識も身に付けます。</p> <p>具体的な講義の計画は以下の通りです。</p> <p>※第 1 回と第 2 回は指定教科書『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』で実施</p>	

第1回：発音編（その1）

1. 中国と中国語の基礎知識
2. 母音（36個）とは何か？
3. 子音（21個）とは何か？

第2回：発音編（その2）

1. 母音（36個）と子音（21個）の総合復習
2. 「音節の仕組み」と「音節の綴りの規則」の解説
3. 発音編課題の解答記入（受講者）と解答の解説（担当者）

※第3回～第12回は指定教科書『中国語基礎～よく使う基本文法だけ覚えよう～』で実施

第3回：文法編・読解編（会話集 第1課の単語、文法、本文、練習問題など）

第4回：文法編・読解編（会話集 第2課の単語、文法、本文、練習問題など）

第5回：文法編・読解編（会話集 第3課の単語、文法、本文、練習問題など）

第6回：文法編・読解編（会話集 第4課の単語、文法、本文、練習問題など）

第7回：文法編・読解編（会話集 第5課の単語、文法、本文、練習問題など）

第8回：文法編・読解編（会話集 第6課の単語、文法、本文、練習問題など）

第9回：文法編・読解編（会話集 第7課の単語、文法、本文、練習問題など）

第10回：文法編・読解編（会話集 第8課の単語、文法、本文、練習問題など）

第11回：文法編・読解編（会話集 第9課の単語、文法、本文、練習問題など）

第12回：文法編・読解編（会話集 第10課の単語、文法、本文、練習問題など）

※第13回～第15回は指定教科書『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』で実施

第13回：日常会話編・中国語の豆知識編

1. コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）の解説
2. コラボ型日常会話編（第十三課～第十四課の単語と本文など）

第14回：日常会話編・中国語の豆知識編

1. コラボ型会話で使う「主要助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）の解説
2. コラボ型日常会話編（第十五課～第十六課の単語と本文など）

第15回：日常会話編・中国語の豆知識編

1. コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）の解説
2. コラボ型日常会話編（第十七課～第十八課の単語と本文など）
3. 課題の解答記入（受講者）と解答の解説（担当者）

準備学習(予習・復習)

・教科書や学習プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。

・わからない用語や内容は、参考文献などで検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。科目試験による評価 100%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

練習問題や課題は授業中にその解答の解説を行う形でフィードバックします。

教科書

使用教科書（2冊）は以下の通りです。

- ・書名：『中国語基礎～よく使う基本文法だけ覚えよう～』（音声再生アプリ付）
- 著者名：田中英夫
- 発行所：朝日出版社

ISBN : 978-4-255-45424-5 (予定 : 2026 年 3 月に刊行予定です)

- ・書名 : 『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』 (音声再生アプリ付)
- 著者名 : 田中英夫
- 発行所 : 朝日出版社
- ISBN : 9784255453491

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

- ・「海外事情 (中国編)」 (正科生 B のみ履修可能)
- ・「海外語学・文化研修 (中国大連編)」 (正科生 B のみ履修可能)

その他

なし

担当教員の実務経験

なし